

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 G I G Aスクールの学びと電磁波による健康への影響について（40分）</p> <p>ここ数年、急速に普及したスマートフォン（スマホ）をはじめ、タブレット端末、パソコンなどの情報機器、そして電子レンジ、IH調理器などの家電製品に囲まれ、大変便利な生活ができるようになりましたが、私たちは知らない間に電磁波にさらされる機会が増えています。折しも、このコロナ禍によって、会議や授業、飲み会までがオンラインで行われるようになりました。</p> <p>小・中学生に1人1台の学習用端末を配り、学校を高速大容量の通信ネットワークでつなぐG I G Aスクール構想は、教育のICT化を進めるもので、それ自体を否定するものではありませんが、このG I G Aスクール構想が出てきた背景を押さえておくことは重要です。財界が打ち出した「Society(ソサエティ)5.0」を受けて、政府は「未来投資戦略2017－Society5.0の実現に向けた改革－」を閣議決定し、安倍内閣の成長戦略として位置づけられました。経済産業省がリードし、文部科学省が追随する形でG I G Aスクール構想が出されました。</p> <p>コロナ禍で、G I G Aスクール構想は前倒しされ、2023年度が目標だった1人に1台の学習用端末配備が2020年度へ早まりました。国民的に十分な議論のないまま導入されたG I G Aスクール構想には2つ懸念があります。1つは、集団のなかでの協同・共同の学びの豊かさが損なわれるのではないかということ。もう1つは、電磁波被ばくによる健康への影響です。</p> <p>先生たちが大切にしてきたのは、わからないことを「ここを教えて」と言える力、子ども同士の教え合い、教えた側も教えられたり、共感しあえたり、人間的なつながりをつくりながら学ぶことだといえます。教室で小さなドラマを積み重ねてきたのです。それを、タブレット端末が取って代わることができるのでしょうか。</p> <p>文科省は、1人に1台のパソコン利用を「令和のスタンダード」としていますが、無線LAN環境では電磁波被ばく量が高くなります。無線LANや携帯電話、スマホで使われる無線周波数電磁波は、国際がん研究機関（IARC）が発がん性があるかもしれないと認めた周波数帯で、健康への影響が指摘されています。また、視力、視覚への影響、依存性、睡眠障害など、子どもの健康に与える影響が心配です。小学校の低学年が使っていいのかなどの問題も指摘さ</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>れています。</p> <p>海外では、子どもの携帯電話やスマホなどの使用について、年齢や使用時間などに厳しい規制がかけられています。日本でもICT教育を進めるなら、子どもの健康を守るためのガイドラインが必要です。</p> <p>以上のことから以下質問します。</p> <p>(1) 小・中学校でのLANは無線ですか、有線ですか。</p> <p>(2) 授業で1日どれくらいタブレット端末を使用していますか。</p> <p>(3) 子どもたちの反応は。</p> <p>(4) タブレット端末を使用する授業のメリットとデメリットは。</p> <p>(5) タブレット端末等の使用で身体の不調を訴える子はいませんか。</p> <p>(6) タブレット端末をどのように管理していますか。</p> <p>(7) 壊れた時の対応はどのようにしますか。また、更新時の費用はどのようになりますか。</p> <p>(8) 電磁波被ばくの対策はどのようにしていますか。</p> <p>(9) スマホ等の長時間使用の弊害について、子どもたちにどのように指導していますか。</p>	